

増える外国人の働き手

成長戦略で受け入れ拡大

工場や建設現場だけでなく、介護や家事サービスなどの分野でも外国人の働き手が当たり前の時代が来るかもしれない。「人手不足」解決の切り札として、外国人労働者の受け入れを増やす政策を、政府が成長戦略で進めているためだ。ただ受け入れが進めば定住希望者も増え、向き合うべき課題も生まれてくる。

実習生「ずっと」

ダダダ、ダダダ……。軽快なミシンの音が工場に響き、厚みのあるオレンジ色の化繊ベルトが縫い上がっていく。ミシンを動かすのはベトナム人のファン・ヴィエ・ハインさん(25)とファンフィ・トゥアンさん(21)。浜松市中区の織物会社で2月から働く「外国人技能実習生」だ。従業員約40人の中で外国人は2人だけ。「同業者が受け入れているのを見て、やってみようと思った」と服部明彦社長(55)。



ミシンでベルトを縫い付ける作業をするハインさん(左)とトゥアンさん(右)＝浜松市中区

政策点検 @しずおか 2014 衆院選

思うように人が集まらず、試したのが実習生制度だった。若い分、のみ込みが早い期待もあった。日本語は完璧でないが、仕事に

3年→5年、延長へ

長く働きたい実習生や受け入れ企業にとって、安倍内閣が6月にまとめた新成長戦略は朗報だ。実習期間を最長3年から5年に延ばす方針を盛り込んだ。製造業や建設業、水産加工などの68職種に限られる対象職種を、介護をはじめとする「人手不足」分野に広げることも検討中だ。ただ、技能実習制度は安価な労働力確保の仕組みではない。途上国に日本の技術を教えることが目的だ。家族帯同を認めず、労働条件が悪くても実習生が勤め先を変えられないなど、非

は支障はない。他の従業員と打ち解けているという。服部社長は来年も新たに2人を受け入れる予定だ。賃金は一緒に働く従業員よりは低い。それでも、ハインさんは「高い給料が魅力」と話す。実習期間は制度上、最長3年。ハインさんは「もし可能なら、ずっと日本で働き続けたい」。

服部社長も、できれば長く実習生を雇いたいと考えている。外国人労働者に門戸を開くことも反対ではない。入国手続きが簡単になると良いと思うが、「誰でもすぐに入れるのは違うと思う」と話す。

護士団体などから「人権侵害」との指摘もある。人口減で働き手が不足する中、自民党は今回の衆院選公約の「政策BANK」の中で、「移民政策ではないことを前提に、労働力強



清掃工場に不具合

メーカーを提訴へ

浜松市 三井造船などのJV

浜松市は3日、清掃工場で焼却灰を溶融できなかったため、焼却灰を最終処分場で埋め立てなければいけ

入間川部屋への入門が決まった金森君と入間川親方＝沼津市東熊堂の飛龍高校



横綱「入間川部屋へ」 3年金森君、入門決定

市) 3年の 間川部屋で合宿をしている。 目(17)が、 金森君はその際、「大相撲は

定

化・付加 経験・ 人材が日 環境を整 た。政府 略特区」 者の受け 厚生労 年10月末 すでに 外国人 内にも多 人手不足 90年 法が施行 が認めら た。 だが、 た子ども 育の壁が 義務教育 通っても られない 「日本 も話せる の授業を